

かられどももなり一校本白と向とまれとも古写白とまれハ
此すより一稿本也初句うつそ火と凡古写本也うつそ火とく
解よりもほこの下に抄くあれども白鷹もきげむといへり下五首
稿本より雜の部は入る向ハ全く白のあやまりと君侯も
きあひき

ともまれハ羽杖つくりとやせ鷹の押れとあやまきげといへり
古注ハ羽と初はうつげく羽と凡と下はけく抄くと羽杖はく
と云也叔癸鷹ハ餌を多くへハ餌包とくさるあーくく
胸は昨日もぐもちく吐物そのやそれといへり抄のさき
後中ハ押込あまハめといへり古写本の註也羽つゑとハ羽と